香川大学教育学部・大学院教育学研究科

資質の高い教員養成推進プログラム：大学院における高度専門職業人養成に係る取組

研究推進校との協働による教員養成の高度化

－公立学校における先進的教育現場からの学びと大学院での研究省察を通して－

本プロジェクトの目標

教育実践力の高度化
実践的研究力の育成
同僚性・協働性・省察

- ○ 教育実践にそくした力量形成
- ○ 多様な観点からの事例の検討と究明
- ○ 協働に基づくチームとしての活動力形成

スクールアプレンティスシップ

- ○ 公立の研究推進校の研究に参加
- ○ 教育の今日的課題と研究内容・方法を実践的・体験的に習得
- ○ 学校現場における教員の徒弟的な関わり －アプレンティスシップ(*)－ の利点を再生

事例研究コロキウム

- ○ 大学院でコロキウム(**)を開催し教育現場で得られた事例を協働的に検討
- ○ 大学院生・大学教員・学部生・県教委担当者・研究推進校教員などが参加
- ○ 月１回実施（10･11･12･2月、香川大学にて；3月には公開フォーラム開催）

大学院生のAP（アプレンティスシップ）チーム

- ○ 専攻･専修の異なるメンバーで構成
- ○ チーム課題と各メンバーの課題を探求
- ○ 現職院生をチームに配置
- ○ 院生相互による学習･研究の促進

複数の指導教員

- ○ 県との人事交流に基づく教員・公立校で研修を行った教員・院生指導教員などが参加
- ○ 各APチームに２名の指導教員を配置

(*)「アプレンティスシップ」:「徒弟(見習い)」を意味しますが、ここでは、学校文化などの継承のために、学校現場で先輩教員にならいつつ、すぐれた知見や技量を習得することを指します。

(**)「コロキウム」:「会合・学会、学究的セミナー」を意味しますが、ここでは、教育現場で得られた事例や課題を巡って大学院で討論会を行い、参加者が協働して検討を深めることを指します。

■ 参加校での院生の活動

■ 主として研究に関わる場への参加

大学院生が主として学校における研究の場に参加することによって、教育の今日的な課題や研究内容･方法を実践的･体験的に習得するようにしたいと考えています。以下は、活動例です。

・現職教育への参加（研究討議、研究授業の事前協議、授業、授業討議など）
・授業参観･児童生徒の学力支援活動（Ｔ２としての授業参加、ゲストティーチャーなど）
・教材開発に参加（学年団や教科での教材研究、授業に活用する教材･教具の作成など）
・現教主任（研究主任）、教科等の主任、生徒指導主事などの先生方からの講話
・その他、学校の教育活動に参加（家庭や地域との連携、特別支援教育やキャリア教育、食育教育などの当該校の特色のある取組など）

■ 本プロジェクトの運営･実施体制

スクール･アプレンティスシップ　　事例研究コロキウム

プロジェクト実施委員会

○役　割：本プロジェクトの計画･実施・院生チームの指導
○構成員：APチーム指導教員

支援と助言　　自己点検評価（事中評価・事後評価）

プロジェクト運営会議

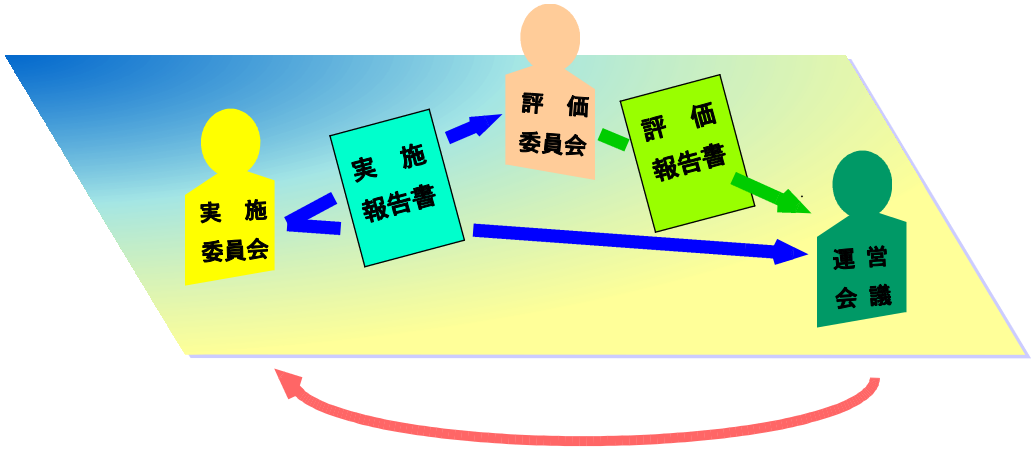
○役　割：本プロジェクトの実施に向けての支援と助言
○構成員：学部長・教育研究評議員・実施委員会委員・県教委代表者・協力校代表者
○学部メンバーによってプロジェクト運営会議推進部会を構成・基本計画を立案

実施報告書　　評価報告書

プロジェクト評価委員会

○役　割：本プロジェクトに対する外部評価
○構成員：県教委・県校長会・県PTA・参加院生の各代表者

■ 本プロジェクトの評価と次年度への継続



次年度に向けての改善と計画・次年度での実施